

## 2025 年度事業報告

### 1 事業実施の概要

- ① 「オホーツク鉄道車両展示場」車両の保存・活用・公開のための事業については、キハ27の鉄道文字入れ、破損窓の入れ替え及び連結部のアクリル板による閉鎖を実施し、外観に関する修復は終了した。キ100については部分的な塗装劣化部分の剥離と錆止め及び塗装を実施した。また、スユの傾きについてはレール止めの補強を行っている。

展示場における車両公開は4月29日から10月27日までの土曜、日曜を主に18回開催。5月、6月の多田コレクション展、6月から8月にかけてのTEAM EZOSHIKA 写真展、9月、10月の今井コレクション展等の開催により、芳名帳に記帳いただいた方だけでも200名を超える来場があった。

車両の補修については、キハ27の車内整備、屋根及び窓への防水対策、キ100、キ700の劣化部分に対する日常的塗装補修が残されている。

- ② オホーツクの鉄道史及び鉄道に関わる郷土史に関する調査・研究・公開のための事業は、温根湯森林鉄道にまつわる映画「無法者」の上映を提起したことから、大きな社会的広がりを見せた。10月の映画上映会は留辺蘂林産協同組合や留辺蘂の林業関係者を賛同者に巻き込み「留辺蘂林業の歴史文化継承会」として実施され、「まちづくりパワー支援補助金」の採用事業となった。12月には「甦る！あの時の留辺蘂—森林鉄道が走っていた時代を語る集い」が開催され、更に年度をまたいでの「語る集い」の2回目、林業遺産を巡るセミナーツアーを開催するなど、留辺蘂自治区のまちづくりに貢献することとなった。
- ③ オホーツクの鉄道史及び鉄道に関わる郷土史に関する広報事業としては、ホームページとSNSによる情報発信を進め、キハ27の修復完了や留辺蘂森林鉄道の歴史譚を会報第3号（11月発行）により詳しく報告した。
- ④ オホーツクの鉄道遺産・遺構及び鉄道に関わる郷土史の遺産・遺構のガイド事業としては、当初、「林業遺産を巡るバスツアー」を11月に予定していたが、「留辺蘂林業の歴史文化継承会」の取組みスケジュールやヒグマの出没状況もあり、年度内の実施が見送られた。このバスツアーは年度をまたぎ、本年4月に開催し29名の参加を得ている。
- ⑤ オホーツクの鉄道遺産・遺構の保存事業への助言、指導及び保存事業の受託事業については、留辺蘂仲良し公園のD51311の保存・補修・清掃作業並びに車両公開イベントを8月に実施した。
- ⑥ その他の事業（収益事業）については、スユ車内における書籍及び物品の販売を実施した。

## 2 事業の実施経過

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施の状況	事業費(千円)
①「鉄道車両展示場車両」の保存・活用・公開事業	車両冬囲いはずし	4月27日	従事者22名	719
	スユ・ヨ・ワフ公開	4月～10月	来場者200名以上 従事者4名	
	チームエゾシカ写真展 多田・今井コレクション展	9月～10月	従事者1名	
	キハ27文字入れ&キ100 塗装補修作業 車輛冬囲い	10月26日	従事者23名	
②オホーツクの鉄道史及び鉄道に関わる郷土史に関する調査・研究・公開事業	映画「無法者」上映会	10月19日	来場者245名 従事者9名	50
	森林鉄道の走っていた時代を語る集い	12月6日	来場者45名 従事者8名	
③オホーツクの鉄道史及び鉄道に関わる郷土史に関する広報事業	ホームページの管理更新 SNSの管理発信 会報3号の発行	通年 通年 11月	従事者1名 従事者1名 従事者1名	95
4 オホーツクの鉄道遺産・遺構及び鉄道に係る郷土史の遺産・遺構のガイド事業	本年度の実施はない			0
⑤オホーツクの鉄道遺産・遺構の保存事業への助言、指導及び保存事業の受託事業	留辺蘂D51311冬囲いはずし 留辺蘂D51311車両公開 留辺蘂D51311清掃補修 留辺蘂D51311冬囲い	4月13日 8月3日 10月13日 11月9日	従事者6名 従事者5名 従事者4名 従事者4名	26
⑥その他この法人の目的を達成するために必要な事業	本年度の実施はない			0

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施の状況	事業費(千円)
①喫茶飲食業	本年の実績はない			
②物品及び図書販売事業	鉄道関連書籍・グッズ販売	通年	書籍グッズ販売額は 70,650 円	78
③業務請負事業	本年の実績はない			0
④着地型旅行の造成・販売事業（旅行業法に基づく旅行業）	本年の実績はない			0

※事業費は千円未満切り捨てで表示しています。